

小僧道とは…

以下、中山町郷土史研究会発行書籍(小僧道に伝わる民話参考)。

「小僧道」とは、「柴橋村史」等によれば、昔、平塩の熊野神社の例祭(四月三日)の時、末社の北目熊野神社(山辺町)から神輿が渡御するのを迎えるため、小僧達が通った道であるという。一方、左沢から上山まで、白鷹山地の山際をはしる出羽三山参詣の道という説や、虚空蔵道という説などもあつて実態はわからないというのが現状である。

中山町郷土研究会では、歴史遺産発掘の一つとして数回にわたり「小僧道跡」を調査し記録作成に取り組んだところである。

このたび、この古道にかかわる写真と、そこに語られた民話とを合わせて小冊子として刊行することになった次第である。

平成二十三年三月十一日の東日本大震災から「絆」がことさら強調されたが、住民一人ひとりの地域愛に少しでも役立てば幸いと思う。

平成二十四年三月吉日

中山町郷土史研究会

中山町域の「小僧道」の跡

